

長谷川栄先生 著書論文一覧

I 著書（共・編著を含む）

- 1 山田栄博士退官記念論文集『教育課程と世界観』
高陵社 一九六六年四月
「教材構成におけるエクセンプラリツシュ方式の意味」
（一九八—二二二頁）
- 2 伊藤和衛、大浦猛、宮原兔一編『教育原理研究』
明治図書 一九六七年二月
「学習指導の過程と段階の吟味」、「学習環境の構成」
（分担 一五七—一六六頁）
- 3 長谷川栄、山田勉他著『社会的判断力—評価の改造
4 小学校社会』明治図書 一九七一年四月
「1、社会的判断力の評価」、「5、評価の方法と改造
例の分析」（七—一三頁、一五七—一六九頁）
- 4 富田竹三郎編著『現代の教授理論』協同出版 一九
七二年三月
「範例方式と教科」（分担 七四—一〇四頁）
- 5 石塚松司教授御退官記念事業会編『石塚松司先生と
教育』一九七三年三月
「教育学的思考の深まり」（分担 二四三—二五二頁）
- 6 教師養成研究会著『教育方法—システムズ・アプロ
ーチ』学芸図書 一九七五年
「現代の教授理論」（分担 一五—三九頁）
- 7 山田栄編『教育原理』協同出版 一九七六年四月
「学習とは何か」、「学習指導の意義と目標について述
べよ」、「学習指導の原理について述べよ」、「授業分析
について述べよ」（分担 七七—八五頁、九八—一
〇〇頁）
- 8 井坂行男編『教育方法』協同出版 一九七六年四月
「教育内容を精選する意義と観点を述べよ」、「授業で
どんな評価が行われるか」、「オーブン・スクールの特
徴を述べよ」（分担 五〇—五三頁、二〇六—二〇九
頁、二四五—二四八頁）
- 9 大浦猛編著『人間像の探究』教育学研究全集1
第一法規 一九七六年五月

- 「範例教授における人間観」(分担 一八八一—一九九頁)
- 10 金子孫市編著『教育システムの実践入門』 めいけい出版 一九七六年七月
- 「授業のシステム化」(分担 九一一—〇九頁)
- 11 井坂行男編著『現代の教育方法』 教育学研究全集 9 第一法規 一九七七年十月
- 「教授と学習」(分担 一九—五〇頁)
- 12 井坂行男編著『人間形成—教育方法的観点から』 明治図書 一九七七年四月
- 「学習指導における人間観」(分担 一九—二九頁)
- 13 金子孫市先生退官記念会編『一人ひとりを生かす教育』 一九七八年三月
- 「授業システム化」(分担 一五九—一七二頁)
- 14 金子孫市編著『学校教育のシステム化』 めいけい出版 一九七八年十月
- 「授業のシステム化」(分担 四三—五八頁)
- 15 高野尚好・梶田敬一編『現代教育評価講座 社会3』 第一法規 一九七八年十二月
- 「教授・学習活動の展開と評価の諸機能」(分担 九八—一一一頁)
- 16 奥田真丈・永岡順編『諸外国の学校』 現代学校教育 全集第二十五巻 ぎょうせい 一九八〇年七月
- 「西ドイツ」(分担 二三四—二四九頁)
- 17 飯田芳郎・沢田慶輔・鈴木清・樋口幸吉・堀久編『新生徒指導事典』 第一法規 一九八〇年十一月
- 「現代思潮と生徒指導」(分担 三一—六頁)
- 18 天野正治編『現代に生きる教育思想 ドイツ(2)』 ぎょうせい 一九八二年一月
- 「B・オットー—合科教授の創始者」(分担 五一—八〇頁)
- 19 東洋・中島章夫・梶田敬一編『授業改革事典 3』 第一法規 一九八二年四月
- 「学習の動機づけ」(分担 三三—四二頁)
- 20 筑波大学教育学研究会編『現代教育学の基礎』 ぎょうせい 一九八二年七月
- 「教育実践の課題と意義」「授業」「教育評価」(分担 二二—四—二二二頁、二五二—二五九頁、三六五—三七七頁)
- 21 教科書研究センター編『教科書からみた教育課程の国際比較 1 総論編』 ぎょうせい 一九八四年六月
- 「国別の調査研究 西ドイツ」(分担 一四〇—一四三頁、一四六—一四八頁、一六〇—一六五頁)

22 飯田芳郎・高橋哲郎・長谷川栄編『新中学校特別活動事典』第一法規 一九八四年九月

「特別活動とゆとりの時間」(分担 四五―五一頁)

23 井坂行男編著『カウンセリングと教師教育』協同出版 一九八五年七月

「学習指導とカウンセリングの実際」(分担 七三―八五頁)

24 吉本二郎・西村文男編著『個人差に応じた学習指導』教育出版 一九八六年五月

「個人差に応じた学習指導とは何か」(分担 一六―三〇頁)

25 教師養成研究会編『教育方法学』学芸図書 一九八六年十月

「現代の教授理論」(分担 一五―四二頁)

26 長尾十三三編『新教育運動の生起と展開』明治図書 一九八八年五月

「新教育運動の基本的諸相―合科教授との関連で」(分担 一四六―一六三頁)

27 多田俊文編『教育の方法と技術』教師養成研究会教職課程講座 5 学芸図書 一九九一年十月

「現代の教授理論」(分担 三六―五五頁)

28 長谷川栄・佐々木俊介編著『教育の方法と技術』教職教育講座 第3巻 協同出版 一九九二年四月

「学習指導の意義と目標」(三九―五二頁)

29 遠藤昭彦・山口満編著『道徳教育と特別活動』教職教育講座 第4巻 協同出版 一九九二年五月

「学校教育の今日的課題と特別活動」(分担 一〇九―一一九頁)

30 長谷川栄・杉原一昭編『生徒指導と教育相談』教職教育講座 第5巻 協同出版 一九九二年六月

II 学術論文

1 「ヴィルマンの陶冶(教授)の特質」東京教育大学教育学研究集録 第1集 一九六二年四月 八七―九二頁

2 「教授と習得段階―ヴィルマン教授学に関連して」東京教育大学教育学研究集録 第2集 一九六二年四月 四五―五三頁

3 「ヴィルマン教授学の社会的観点」教育方法学研究 第1集 一九六六年三月 二一―四五頁

4 「Willmannの初期の教材観の考察―Lehrstoffから

「Lehrgang」東京教育大学教育学部紀要 第12巻

一九六六年三月 二五—三四頁

5 「ヴィルマン教授学の歴史的観点」教育方法学研究

第2集 一九六七年七月 二〇—三五頁

6 「ヴィルマン教授学の自立性と統一性」教育学研究

第34巻第4号 一九五七年十二月 一二—二一頁

7 「範例概念について—範例教授・学習の基礎的吟味」

教育論究 第8号 一九六八年二月 一—八頁

8 「範例教授・学習と形式陶冶」教育方法学研究 第3

集 一九六九年三月 二六—四一頁

9 「知識から意欲へ—ヴィルマンの陶冶目的について」

新潟教育学会研究年報 第2号 一九七二年九月

一四—一九頁

10 「ヴィルマン教授学における客観的観点の確立につ

いて」新潟大学教育学部紀要 第14巻 一九七三年三

月 一—一二頁

11 「ヴィルマンのシュライエルマツヘル教育学への接近」

教育方法学研究 第4集 一九七五年九月 一三六—

一四九頁

12 「ヴィルマンの言語陶冶内容論」東京教育大学教育

学部紀要 第24巻 一九七八年一月 五三—六四頁

13 「教育的タクトと授業の展開」教育方法学研究 第

5集 一九七九年三月 一四四—一六六頁

14 「西ドイツの最近の教授学の動向—研究方法を中心

として」ディースターヴェーク研究会会報 第12号

一九八〇年三月 六—九頁

15 「授業の質をどのように高めるか」東京教育研究所

『研究紀要』第5巻 一九八〇年十一月 一—一三頁

16 「授業準備論 その1」筑波大学教育学系論集 第

6巻 一九八二年三月 三九—五一頁

17 「授業準備論 その2」筑波大学教育学系論集 第

7巻 一九八三年三月 五二—六三頁

18 「ヴィルマンの「発生的方法」の教授学的意義」

教育方法学研究 第6集 一九八三年三月 一一五—

一三三頁

19 「ヴィルマンの大学時代のブルシェンシャフトにお

ける活動」教育方法学研究 第7集 一九八六年十月

四五—六一頁

20 「ヴィルマンの教師養成の実践と思想」教育方法学

研究 第8集 一九八八年十一月 一七—四一頁

21 「日本のカリキュラム研究への実際的提言—教育課

程論の立場から—教育内容の研究にむけて」日本カリ

キユラム学会創立大会記念資料集 一九九一年六月
四二—四六頁

22 『『一つの花』の比較分析による教授方略の研究』

日本教材学会会報 第3巻11号 一九九一年十二月
新井孝喜と共著 八—一一頁

23 「授業における教授方略—『一つの花』の授業の比較
分析—」日本教育方法学会紀要「教育方法学研究」

第17巻 一九九二年三月 布川和彦、新井孝喜と共著
一四五—一五二頁

24 「教授的変換理論の展開と意義」筑波大学教育学系
論集 第19巻第2号 一九九五年一月 九三—一〇九
頁

25 「教授学の対象と方法」教育学研究集録 第19巻

一九九五年十月 一一—一二頁

III 雑誌論文

1 「西ドイツのエクセン普拉ツリシユな教授・学習につ
いて」教育研究 第19巻5号 一九六四年五月 八八
—九一頁

2 「西ドイツにおける主体的な学習指導法」教育研究

第19巻9号 一九六四年九月 五二—五五頁

3 「範例方式による地理学習」社会科教室 65号 一九
六六年三月 一四—一七頁

4 「教室授業の進め方」看護教育 第7巻4号 一九六
六年四月 九—一一頁

5 「なぜ範例方式が重視されるのか」授業研究 第5巻
2号 一九六七年二月 二〇—二六頁

6 「範例学習には前後準備が必要」社会科教育 55号
一九六九年三月 八九—九四頁

7 「教材選択・教材構造研究の課題」社会科教育 65号
一九七〇年一月 三〇—三五頁

8 「教材過剰と範例方式」きょうどう 第2巻2号
一九七二年九月 四〇—四一頁

9 「教育技術の性格」教育技術解説1 看護教育

第14巻1号 一九七三年一月 五五—五九頁

10 「よく理解する その1」教育技術解説5 看護教
育 第14巻5号 一九七三年五月 三三七—三四一頁

11 「よく理解する その2」教育技術解説6 看護教
育 第14巻6号 一九七三年五月 三九九—四〇三頁

12 「追求の楽しさ面白さを経験させて」社会科教育
110号 一九七三年九月 一〇—一四頁

- 13 「個性の伸長 その1」 教育技術解説9 看護教育
第14号 一九七三年九月 六一—六二〇頁
- 14 「個性の伸長 その2」 教育技術解説10 看護教育
第14巻10号 一九七三年十月 六七七—六八一頁
- 15 「授業の連続的一環としての予備課題の条件」
社会科教育 120号 一九七四年七月 一〇—一四頁
- 16 「社会科の内容構成と教材精選の問題」 社会科教育
134号 一九七五年七月 八八—九四頁
- 17 「観察力・思考力研究の動向と研究課題」 社会科教育
育研究年鑑 社会科教育 135号 一九七五年七月 八
七—九四頁
- 18 「社会科—基本的事項を取り出す教材研究」 社会科
教育 152号 一九七六年二月 八〇—八五頁
- 19 「子どもの発言をどう取り上げるか」 社会科教育
154号 一九七六年四月 二八—三五頁
- 20 「個が生きるための教師の指導性」 授業の研究 52
号 一九七六年十月 二—五頁
- 21 「人間形成と評価」 初等教育資料 363号 一九七八
年三月 一—五頁
- 22 「指導内容としての「基礎」と「基本」」 現代教育科
学 254号 一九七八年五月 一一—一八頁
- 23 「教育課程評価の意味と構造」 学習指導研修 第2
巻11号 一九八〇年二月 三二—三五頁
- 24 「指導内容の十分な吟味に裏づけされた合科的指導を」
現代教育科学 279号 一九八〇年四月 六一—六四頁
- 25 「新指導要録と担任教師の心構え」 学級経営 171号
一九八〇年七月 五—一二頁
- 26 「教育課程編成のポイント」 現代教育経営 第2巻
6号 一九八〇年十二月 二二—二五頁
- 27 「教科の基礎・基本をどうとらえるか」 千葉教育
一九八〇年十一月 九—一二頁
- 28 「教育課程評価の計画的実施のポイント」 学習指導
研修 第3巻11号 一九八一年二月 三二—三四頁
- 29 「学校における教育課程改善の視点」 初等教育資料
406号 一九八一年三月 一—五頁
- 30 「学習指導の改善に生かす評価の在り方」 (座談会)
初等教育資料 420号 一九八二年三月 三一—四〇頁
- 31 「西ドイツの教育にみる新しい学力観」 教育研究
第37巻4号 一九八二年四月 一六—一九頁
- 32 「学ぶ力と授業の見直し」 教育研究 第37巻12号
一九八二年十二月 一六—一九頁
- 33 「画一的な指導からの脱却」 初等教育資料 461号

一九八四年十二月 二九—三三頁

34 「集中できる子を育てる―学校での取り組みを中心に」 児童心理 第39巻11号 一九八五年九月 一一—一七頁

35 「教育課程の改善の課題」 学校運営 293号 一九八五年十二月 二〇—二三頁

36 「問うことを学ぶ」 教育研究 第41巻4号 一九八六年四月 一四—一七頁

37 「学習への集中力を育てる―学習状況を評価する視点」 教育展望 第32巻4号 一九八六年五月 四二—四九頁

38 「教育課程の理念とその構成(4)―統合と分化を考える」 初等教育資料 492号 一九八六年十二月 九四—九九頁

39 「個に應ずる教育の実質的実現を」 現代教育科学 365号 一九八九年四月 三八—四〇頁

40 「ベルト・ルト・オットーの『未来の学校』をよむ」 教員養成セミナー 第10巻9号 一九八八年四月 二〇—二三頁

41 「新学習指導要領素案の読み方」 教職課程 第14巻12号 一九八八年十月 四〇—四一頁

42 「高校教育における「基礎・基本」」 高校教育展望 第13巻12号 一九八八年十二月 五六—五九頁

43 「基礎・基本」 児童心理 一九八九年四月 臨時増刊 一一〇—一二五頁

44 「新学習指導要領で教育内容はどうか変わるか」 教職課程 第16巻1号 一九八九年一月 三五—三六頁

45 「個が育つ学校の教育課程編成の技術」 教育展望 第36巻5号 一九九〇年六月 一六—二三頁

46 「学校教育と個性」 指導と評価 第37巻2号 一九九一年二月 九—一二頁

47 「新指導要録と評価の改善―各教科の「学習の記録」の所見(Ⅲ)」 教職研修 第19巻10号 一九九一年六月 五八—五九頁

48 「ひとみが輝く授業を構築するための条件」 兵庫教育 486号 一九九一年十二月 四—一〇頁

49 「到達度に応じた指導をどう工夫していくか」 教職研修 第21巻5号 一九九三年一月 八八—八九頁

50 「今日の学校における生徒指導」(新井孝喜と共著) 教職課程 第19巻2号 一九九三年二月 五〇—五三頁

51 「学習指導要領にみる学力観と評価観の変遷」 指導

と評価 第39巻5号 一九九三年五月 四—九頁

52 「個性の伸長に役立つ評価をどう考えたらよいか」

教職研修 第22巻3号 一九九三年十一月 四四—四

五頁

53 「基礎・基本の評価」教職研修総合特集『新しい評価

観読本』 111号 一九九四年一月 六二—六五頁

54 「新しい学力を育てる学習指導の在り方」教育創造

第10巻30号 一九九四年二月

55 「発問の可能性—生徒をゆさぶる発問」(樋口直宏と

共著)月刊国語教育 第14巻2号 一九九四年五月

一四—一七頁

56 「偏差値教育とは何を意味しているか」教育相談研究

76号 一九九四年七月 二—五頁

57 「ティーム・ティーチングの今日的課題」指導と評価

第40巻8号 一九九四年八月 四—八頁

58 「小学校では『生きて働く力』をどう育てるか」教職

研修特別増刊号『新学力観に立つ「五日制」学校経営』

一九九五年三月 一八〇—一八一頁

59 「ティーム・ティーチングの意義と在り方」教育じほ

う 566号 一九九五年三月 二六—三三頁

IV 研究報告書

1 「授業分析によるマイクロティーチングの設計と実施

の研究—教育実習の効果を高めるために」昭和52・53

年度科学研究費補助金一般研究(C)報告書 研究代

表者 梶 哲夫 共同研究 一九七九年三月 七四頁

2 「教育実習事前指導プログラムの開発—ミニ・ティ-

ーチング・システムによる教授技能養成コースを中心

に」昭和54年度筑波大学学内プロジェクト研究報告書

研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八〇年三月

九一頁

3 「教職教育用C A Iプログラムの開発研究—教育基本

法」昭和56年度筑波大学学内プロジェクト研究報告書

研究代表者 長谷川 栄 共同研究 一九八二年三月

九四頁

4 「総合大学における教職教育の研究—教育実習事前指

導に関する総合的研究」昭和57年度筑波大学学内プロ

ジェクト研究報告書 研究代表者 梶 哲夫 共同研

究 一九八三年三月 一九八頁

5 「総合大学における教職教育の研究—教育実習事後指

導に関する基礎的研究」昭和58年度筑波大学学内プロジェクト研究報告書 研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八四年三月 一六三頁

6 「中学校における生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等の多様化に対応する方策について―諸外国の実状」昭和58年度文部省初等中等教育局委嘱研究報告書 海外教育組織研究会 代表者 真野 宮雄 共同研究 一九八四年三月 一二七頁 西ドイツ担当

7 「総合大学における教職教育の研究(Ⅲ)―筑波大学の「教育実習に関する実証的研究」昭和59年度教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八五年三月 一二四頁 教職教育用授業分析法の開発の研究担当

8 「授業における「問い」に関する総合的研究」昭和60年度筑波大学学内プロジェクト研究報告書 研究代表者 長谷川 栄 共同研究 一九八六年三月 一五三頁

9 「総合大学における教職教育の研究(Ⅳ)―筑波大学における教職教育の現状と課題」昭和60年度筑波大学教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八六年三月 一六八頁 大学院修

士課程の教職教育担当

10 「総合大学における教職教育の研究(Ⅴ)―筑波大学における教職教育の検討と改善」昭和61年度筑波大学教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八七年三月 一〇九頁 大学院修士課程の研究担当

11 「授業における「問い」に関する総合的研究Ⅱ―「一つの花」の授業をめぐる」昭和62年度筑波大学教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者 長谷川 栄 共同研究 一九八七年九月 九八頁

12 「基礎・基本のとらえ方に関する研究」昭和62・63年度文部省「教育方法の改善に関する調査研究」委託研究報告書 研究代表者 長谷川 栄 共同研究 一九八八年九月 一六五頁

13 「授業における「問い」に関する総合的研究Ⅲ―「一つの花」の授業をめぐる」昭和63年度筑波大学教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者 長谷川 栄 共同研究 一九八九年三月 七〇頁

14 「総合大学における教職教育の研究Ⅶ」昭和63年度研究代表者 梶 哲夫 共同研究 一九八九年三月 一三二頁

15 「現職教員養成プログラム制作手法の研究—教育法規

プログラムの開発」昭和63年度大学教育方法等改善経
費による研究プロジェクト報告書 研究代表者 藤本

京平 共同研究 一九八九年三月 三四頁

16 「授業における教師の意思決定に関する予備的考察—

付・授業における「問い」に関する総合的研究Ⅳ

（「一つの花」の授業をめぐって その3）平成二年

度筑波大学学内プロジェクト研究、平成二年度筑波大
学教育学系実験調査費研究報告書 研究代表者

佐々木俊介 共同研究 一九九一年三月 一三一頁

17 「授業における教師の意思決定に関する実証的研究

その2」平成四年度筑波大学教育学系研究促進費研究
研究代表者 佐々木俊介 共同研究 一九九三年三月

一二三頁

18 「総合大学における教職教育のプログラム開発に関す

る実証的研究」平成三・四年度文部省科学研究費補助

金一般研究（B）報告書 研究代表者 長谷川 栄

共同研究 一九九三年三月 二五〇頁

19 「授業における教師の意思決定に関する実証的研究

その3」平成五年度筑波大学教育学系研究促進費研報
告書 研究代表者 佐々木俊介 一九九四年三月 八

二頁

20 「総合大学の教員養成における高等学校各教科専門に

応じた教育情報処理 実習に関する研究」平成四・五

年度科学研究費補助金一般研究（B）報告書 研究代
表者 吉江森男 共同研究 一九九四年三月 一八〇

頁

21 「授業における教師の意思決定に関する実証的研究

その4」平成六年度筑波大学教育学系研究促進費研究
報告書 研究代表者 川合治男 共同研究 一九九五

年三月 九二頁

V 訳書

1 H・ロート／A・ブルメンタル共編、三枝孝弘・平

野一朗監訳『範例方式の授業』黎明書房 一九六八年
十一月

2 ヴィルマン著、竹田清夫・長谷川栄共訳『陶冶論と
としての教授学』世界教育学選集 73 明治図書 一九

七三年二月

VI その他

- 1 「カリキュラム」「教科の構造」「経験学習」「ブルーナー理論」天城・奥田・吉本編著『現代教育用語辞典』
第一法規 一九七三年十月
- 2 「書評」小学校社会科25年の歩み―東京都小社研編著
社会科教育 117号 一九七四年四月
- 3 「ヴィルマン」「インドクトリネーション」「監督学習」
「マンハイム式学級編成法」「徳目主義」山田栄他編
『教育学小辞典』協同出版 一九七四年十月
- 4 「教授メディア」「学習環境」「学習集団」「学業指導・
進路指導」「授業分析」奥田真丈編著『教科教育ハン
ドブック』第一法規 一九七四年十二月
- 5 文部省『小学校指導書 教育課程一般編』作成協力
者 一九七八年十月
- 6 「正義」「体験」「百聞は一見に如かず」「自ら反みて
縮ければ千万人と雖も吾往かん』『現代教育目標事典』
ぎょうせい 一九七八年十二月
- 7 「ドイツ便り―教員養成の一端」教育方法学研究 第
5集 一九七九年三月
- 8 「西ドイツの家庭教育の一端」教育資料『くらしと保
険』12号 一九八〇年三月
- 9 「教育課程」「学習指導要領」「教科」「教科書」「視聴
覚教育」「個別指導」「集団指導」茂木勇・荒川潤編
『高校教育総合事典』1 第一法規 一九八三年四月
- 10 「合科的な指導への私の提言―子どもが求めるものと
子どもに求めるもの」授業実践研究会編『小学校授業
実践資料―①低学年教育の改善と合科的な指導』
明治図書 一九八四年五月
- 11 「教育方法学」「教授学」「教授法」「授業」「授業参観」
「集団主義教育」「宿題」日本大百科全書 第6巻、
第11巻 小学館 一九八五年、一九八六年
- 12 「学習指導」「無学年制」「生活単元学習」「学習指導
法」「単元学習」「はいまわる経験主義」「学年制」「学
齡」「複式学級」「専科教員」「ミニマム・エッセンシ
ヤルズ」「エッセンシャルイズム」「エッセンシャルスト」
「演繹的教授」「総合技術 教育」「感化」「技能」「一
般化」「演示」「単元」「テスト主義」「指導書」
辰野千寿・高野清純・加藤隆勝・福沢周亮編『多項目
教育心理学辞典』教育出版 一九八六年一月
- 13 「学習指導における個別指導はどのように行うか」

「体系的・系統的な個別指導を行うにはどうしたらよいか」河野重男監修、高野尚好編『個別指導ハンドブック 理論編』第一法規 一九八六年十一月

14 「生活重視の学習指導」「構造重視の学習指導」「人間性重視の学習指導」「生涯教育」辰野千寿編『学習指導用語事典』教育出版 一九八七年六月

15 「子どもがつくる「事実教授」の教科書」教科書研究センター編『西ドイツにおける事実教授の教科書分析』書評 内外教育 一九八七年九月

16 「基礎・基本と個性」の教育の充実に当たって校長の發揮する指導力とは」「基礎・基本と個性」の教育の充実に当たって教師の指導力として向上させるものは何か」森隆夫・高野尚好編著『変化に対応する学校』ぎょうせい 一九八八年十月

17 「教育学研究科における後継者養成問題」筑波大学「筑波フォーラム」27号 一九八九年三月

18 「書評―藤田輝夫編著『コメニウスの教育思想―迷宮から樂園へ―』日本教育方法学会紀要「教育方法学研究」第18巻 一九九三年三月

19 「三好学『授業日誌』解説」新井孝喜との共著 一九

九三年五月 五一―四二頁

20 「カリキュラム改造」「教育内容」「教科カリキュラム」

「必修教科」「必修・選択」「普通教科」「現代学校教育大事典」2、5、6 ぎょうせい 一九九三年十月

21 「ティーム・ティーチング」「オープン・スクール」

「体験学習」「ディスカッションとディベート」

学校教育研究所編『現代教育の基礎知識』一九九五年五月

VII 研究口頭発表

1 「生徒の教材への関与の層別について」関東教育学会第9回 一九六一年十一月

2 「西ドイツのエクセン普拉リツシュ教授方式について」日本教育学会 第22回 一九六三年八月

3 「最近の教授改革―西ドイツの場合」関東教育学会第13回 シンポジウム 一九六五年十月

4 「西独における範例学習」新潟教育学会 一九六七年五月

5 「形式陶冶と範例学習」日本教育方法学会 第3回 一九六七年八月

6 「ヴィルマン教授学の科学的基礎」日本教育学会 第

- 26 回 一九六七年八月
- 7 「学習指導におけるタクトについて」新潟教育学会
一九六八年十一月
- 8 「これからの授業のあり方を求めて―教育機器利用の検討」新潟教育学会 シンポジウム 一九七二年七月
- 9 「ヴィルマン教授学の客観的観点」日本教育哲学会
一九七二年十月
- 10 「授業の設計と手続き」日本視聴覚教育学会・日本放送学会連合大会 シンポジウム 一九七六年十月
- 11 「授業における「論理」の分析―中学校社会科の授業を通して」日本教育方法学会 第13回 共同研究発表
一九七七年十月
- 12 「現代西ドイツの教授学研究の方法」第8回ディースターヴェーク研究会 一九七九年十一月
- 13 「教職教育用CAIプログラムの開発研究」日本視聴覚教育学会・日本放送教育学会連合大会 一九八二年十一月
- 14 「教育上の懲戒」のCAIプログラム開発研究―教職教育へのCAI利用の可能性についての意識」日本科学教育学会 第7回 共同研究発表 一九八三年八月
- 15 「授業における「問い」に関する総合的研究」日本科学教育学会 第10回 一九八六年八月
- 16 「コンピュータ教育の課題」日本科学教育学会 第10回 シンポジウム 一九八六年八月
- 17 「日本のカリキュラム研究への実際の提言―教育課程論の立場から―教育内容論確立に向けて」日本カリキュラム学会 第1回 シンポジウム 一九九〇年十二月
- 18 「学校教育と個性化―日本の教育課題として」韓国ソウル大学 一九九一年三月
- 19 「授業における教授方略―「一つの花」の授業の比較分析」日本教育方法学会 第27回 一九九一年十月
新井孝喜と共同発表
- 20 「パソコンを用いた教職教養標準問題演習システムの開発」日本科学教育学会研究会研究報告 一九九二年六月十三日 共同研究発表
- 21 「授業中の予想外場面における教師の判断―国語の授業を事例として」日本教育方法学会 第28回 一九九二年十月 共同研究発表
- 22 「新しい学力観における関心・意欲・態度の位置とその意義」日本教材学会 第5回 シンポジウム 一九

九三年十一月

23 「三好学『授業日誌』に見る明治十年代前半の小学校における教育実践」 日本教育方法学会 第30回 一九

九四年十月 新井孝喜と共同発表

24 「授業における教授論理に基づく教科の特質」 日本力
リキユラム学会 第6回 一九九五年七月一日

樋口直宏と共同発表